

執筆依頼状

2026 情処会第 36 号
2026 年 4 月 20 日

研究会主査（幹事）各位

一般社団法人情報処理学会
会誌編集長 松原 仁

原稿執筆のお願い

拝 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて「研究会推薦博士論文速報」につき、以下の要領でご執筆を賜りたくお願い申し上げます。いただいた原稿は電子図書館 (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/>) への掲載となります。

「研究会推薦博士論文速報」では、情報処理学会の研究会から推薦された優れた研究を、情報処理学会の会員に向け広く発信することを目的としております。

博士論文の研究は最先端の難しい内容となるかとは思いますが、中高生を含む多くの読者にとって有益な内容となるよう、ある程度広く研究分野を眺めた上での研究の位置付けや、その研究によって拓ける将来展望などを軸とした研究紹介を行っていただければと考えております。

具体的なアドバイスとして

- 博士論文の論文紹介とするよりも、著者の研究および研究分野の紹介という立場をとる
（「本論文では、」ではなく「本研究では」と書いてみる）
- 研究の詳細を書くことよりも、研究分野における位置付けを明確にすることに務める
（おそらく多くの読者は、研究分野程度の理解までしかできないので）
- ジュニア会員（主に中学生・高校生）が理解でき興味が持てるような、平易な研究説明を意識することを考慮していただければと思います。

前回の記事は以下 URL から参照することができます：

- 2025 年 9 月号 会誌掲載例 (2024 年度博士号取得者対象)
 - 2024 年度研究会推薦博士論文速報：編集にあたって
 - ◇ <https://doi.org/10.20729/0002003547>
 - 研究会推薦博士論文速報：CS 領域
 - ◇ <https://doi.org/10.20729/0002003548>
 - 研究会推薦博士論文速報：IE 領域
 - ◇ <https://doi.org/10.20729/0002003549>
 - 研究会推薦博士論文速報：MI 領域
 - ◇ <https://doi.org/10.20729/0002003550>

上記記事が無料公開となるのは、公開日より 2 年後（2027/8/15 頃）からとなります。

なお、過去の「研究会推薦博士論文速報」は、以下 URL から参照することができます。掲載形式が異なりますことをご承知おきください。

<https://www.ipsj.or.jp/magazine/hakase/>
<https://note.com/ipsj/m/m3f8315d42fa3>
<https://note.com/ipsj/m/maf0952f50ef4>

<https://note.com/ipsi/m/m79652e151f17>

<https://note.com/ipsi/m/m7d1c9b1462f2>

敬 具

記

- ・執筆者一覧のみ掲載：会誌 67 巻 9 号（2026/8/15 発行）
- ・全文掲載：「情報処理」67 巻 9 号 オンライン版（2026/8/15 発行）（PDF 化し、電子図書館にて公開）

- ・原稿締切：2026年5月29日（金）
- ・原稿提出先：会誌編集部門 E-mail: editj@ipsi.or.jp
※原稿ファイルおよび著作権譲渡契約書をお送りください。
※それぞれのファイル名は領域名と研究会名を入れたものに変更をお願いいたします。
（例：MI-ARC-原稿.docx/ MI-ARC-著作権譲渡契約書.pdf）

- ・大変恐縮ですが、原稿料等はお支払いしておりません。
- ・原稿テンプレート/紹介例/レイアウト例を添付いたしますので、ご参照ください。

【注意事項】

- 著作権の譲渡をお願いしております。
恐れ入りますが、添付の譲渡書も原稿と一緒に送付ください。
<https://www.ipsi.or.jp/copyright/ronbun/joto.html>
（著作権規程）
<https://www.ipsi.or.jp/copyright/ronbun/index.html>
（FAQ）
<https://www.ipsi.or.jp/faq/chosakuken-faq.html>
- 研究会内で「です、ます」「だ、である」調の統一をお願いします。
- 学位論文タイトルは和文・英文どちらでも構いません。紙面の都合上どちらか一方をお願いします。
- 図がある場合はキャプションも忘れずをお願いします。
- 顔写真に関しては、紹介文文字数（1700 字）に含まれません。顔写真がある場合、図表データと同じく別ファイルでの提出をお願いします。
- 研究内容紹介文が主査（または幹事）ではなく博士論文著者の場合は、その旨わかるようご記載ください。

【原稿送付後の流れ】

- 1) 編集委員会による閲読があります。
 - 会誌の用語統一に則って編集させていただくことがあります。
 - 会誌の趣旨に沿わない場合は修正をお願いすることがあります。
- 2) 編集・修正箇所を記載した閲読結果ファイルとともに、作成した校正用 PDF をお送りしますので、ご確認と校正をお願いいたします。
- 3) 校正完了後、電子図書館にて公開となります。

ご不明点等ございましたら、お手数ですがご連絡いただければ幸いです。
何卒よろしくお願い申し上げます。

以上